

IMGUメッセージ

定期本部大会 特別号

発行:2022年11月4日/発行人:津田陽介
発行所:三越伊勢丹グループ労働組合
〒160-0022 東京都新宿区新宿5-17-18 H&Iビル1F Tel.03-5273-5165
E-Mail:PR@imgu.or.jp ホームページ:https://www.imgu.or.jp/



三越伊勢丹グループ労働組合
Isetan Mitsukoshi Group Labor Union

2022年度 定期本部大会を開催し、第10期がスタートしました!

2022年10月6日、品川フロントビルの会議室にて定期本部大会を開催し、IMGUの第10期の本支部運動方針ならびに予算を審議決定しました。また、大会中に本部大会選挙区の選挙も実施し、本部役員が選出されました。大会特別号では、本部定期大会の内容と選出された本・支部役員を紹介します。



CONTENTS

- P1 目次・大会議事
- P2 第10期 運動方針のポイント
- P5 第9期 活動報告
- P8 大会報告 第9期活動表彰
- P9 議案に寄せられた質問や意見/退任者紹介
- P10 本部執行委員長挨拶
- P11 本部組織図・〈役員紹介〉本部四役・本部執行委員
- P12 三越伊勢丹支部・北海道統括支部
- P13 仙台三越支部・新潟三越伊勢丹支部・静岡伊勢丹支部
名古屋三越支部・広島三越支部・高松三越支部
- P14 松山三越支部・岩田屋三越支部
エムアイフードスタイル支部
エムアイカード支部・IMBS支部
- P15 IMPD支部・IMS支部・IMH支部・MINT支部
関連グループ支部Ⅰ・関連グループ支部Ⅱ
監査役員・上部団体派遣員
- P16 スタッフ・事務所紹介
- P18 組合ホームページリニューアル!
- P20 HP"QRコード"MAP



第10期(2022年~2023年)定期本部大会の議案

- 第1号議案 「監査報告の件」
- 第2号議案 「第9期(2021年度)活動報告に関する件」
- 第3号議案 「第9期(2021年度)決算および剰余金処分(案)に関する件」
- 第4号議案 「第10期(2022-2023年度)運動方針(案)に関する件」
- 第5号議案 「第10期(2022-2023年度)予算(案)に関する件」
- 第6号議案 「労働福祉ビジョン策定の進捗状況に関する件」
- 第7号議案 「組合規約改訂(案)の件」
- 第8号議案 「組合規約改訂の承認に関する件」
- 第9号議案 「本部評議員の互選に関する件」
- 第10号議案 「選挙管理委員の指名に関する件」
- 第11号議案 「第9期活動表彰の件」



教えて! イングちゃん

定期本部大会とは?

労働組合の会議体のうち、最高の議決機関で、各支部(グループ企業ごとの組合組織)の組合員の代表(本部大会代議員)が集まり、本部の方針、決算、予算、労働組合のルール(組合規約)の改訂などについて、話し合って決定するうさ!

大会の中で本部役員を選出する選挙も一緒に行われるうさよ!

定期大会は毎年10月の初旬に開催し、また新たに2年間の活動期間がスタートするうさよ~

10 第10期 (2022～2023年度) 本部運動方針について

去る10月6日(木)に開催された第10期定期本部大会では、本支部それぞれの運動方針、つまり第10期に取り組む活動について提案があり、審議決定されました。

このページでは第10期の本部運動方針をご紹介します。第10期の運動方針テーマや、活動の根幹となる「VOICEサイクル」について理解を深めていただき、ALLメンバーで労働組合の活動を盛り上げていきましょう!

第10期 運動方針テーマ

みんなで「VOICEサイクル」をまわし、 一つひとつ成果^(※1)を積み重ね、 IMGUをより強い組織^(※2)へ持ち上げよう

- 会社や職場が抱える課題は大小かわからず、さまざまな場所で、さまざまなことが発生しています。
- その一つひとつをスピーディーに解決していくためには、専従役員の活動以上に、現場で働く兼任役員を中心としたメンバー全員での取り組みが不可欠です。
- あらゆる課題を、メンバー全員で「VOICEサイクル」をまわし解決することで、その成果の積み重ねがIMGU組織全体の力となり、メンバーがグループで働くことへのやりがいや安心感へとつながります。
- そのために本部は、グループ全体にかかわる政策を推進する一方で、各支部の活動と、その中心で取り組む兼任役員やメンバーを全力でサポートするとともに、各支部の活動を共有化しさらに磨き上げていくための仕組みづくりをおこないます。

※1 「成果」とは、人事制度改訂といったものだけではなく、例えば、適正な時間管理がおこなわれるようになった、バックヤードが整理された、レクによって職場に一体感が生まれたなど、各支部がさまざまな活動をおこなうことで得られるものを指します。

※2 「強い組織」とは、すべてのメンバーがそれぞれの立場や役割であらゆる活動に参画すること、つまり一部のチームや人だけではなく、ALLメンバーによる課題解決や成果発揮が、多くの職場で再現性高く実現できる組織を「強い組織」と位置づけます。

VOICEサイクルのイメージ

- これまで、各支部がVOICE活動を中心に取り組んできた「現場活動」については、その名称や位置づけをあらため、これからは「VOICEサイクル」として取り組んでいきます。
- 「VOICEサイクル」は、職場の課題解決はもとより、労働福祉や経営対策といったあらゆる活動を推進するにあたって、その根幹となるとも重要なもので、4つの要素を欠けることなく取り組むことで、活動の好循環が生まれます。
- それによって、一つひとつの成果につながるとともに、メンバーの参画意識も高まり、先々の活動がより活性化すると考えます。



※上記「VOICEサイクル」の図はあくまでイメージとして極力シンプルに表現しています。例えばレクの場合には「伝える」の要素が「実行する」などに変化することや、4つの要素の間にも数多く取り組むことがあると考えられます。各支部がベースとなる「VOICEサイクル」を理解したうえで、さまざまな支部独自のアレンジを加えることで、活動をより活性化させていくことも効果的です。

活動期間と役員任期の変更～「1期・1年」から「1期・2年」へ

第9期では、これからの活動期間と役員任期のあり方についても議論をおこなってきました。

さまざまなグループ内外の環境変化が激しい現在においては、労働組合の活動も柔軟に対応させながら、さらに進化させていくこと、また、主体的に活動に参画し組織を支える人財を育成していくことが必要です。

したがって、第10期からは下記3点を主な目的として、活動期間および役員任期を、従前の「1期・1年」から「1期・2年」へと変更します。

活動期間を変更する3つの視点

1.活動計画の視点

- これまでは、1年という短い期間でそれぞれの活動のPDCAサイクルをまわし、短期的な成果を出すことに取り組んできました。
- 第10期からは、2年の活動期間を柔軟に活用し、これまでどおり短期的に一定の成果を出していく活動や、2年の期間の中で修正をくわえながら段階的に完遂を目指す活動など、より時間軸を意識した活動を推進することが可能となります。
- そうすることで、環境変化への柔軟な対応と、より計画的な活動が実現し、これまで以上に精度の高い成果発揮が期待できます。

2.活動内容の視点

- 上記1.に関連しますが、これまでの1年の活動期間では、活動を主体的に推進する(特に新任の)組合役員が、当期の活動自体やその流れを理解し組合活動に順応してきた頃には、残りの活動期間が僅かというケースも少なくありませんでした。
- 活動期間を2年とすることで、これまでよりも長い期間で活動のPDCAサイクルを回すことが可能となり、さらには「VOICEサイクル」と連動することで、それぞれの活動が期中でより進化していくものと考えられます。

3.人財育成の視点

- 活動期間が2年になると、その活動を推進する組合役員の任期も2年となります。
- 上記のとおり、これまででは組合活動に慣れてきた頃には、次の活動期間にむけた改選になってしまう実態にも課題がありました。
- したがって、2年の期間で役員の責務を全うしてもらうことで、活動への参画意識のさらなる醸成と、あわせて体系的な教育もおこなうことは、中長期的にIMGU組織を支える役員人財の育成にも寄与します。

第10期年間スケジュールイメージ

22年				23年								24年															
7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			第10期 定期本部大会			2023年度 「春の交渉」	本部評議員会						定期本部大会 (中間)					2024年度 「春の交渉」	本部評議員会							第11期 定期本部大会	
第9期			第10期 (前半年度)								第10期 (後半年度)								第11期 (前半年度)								
第10期 (前半年度・会計期間)										第10期 (後半年度・会計期間)						第11期 (前半年度・会計期間)											

10 第10期(2022～2023年度)分野別活動計画について

これまでIMGUは、その目的である「わたしたちの幸せを創造し続けること」の実現にむけて、每期さまざまな活動(分野別活動)に取り組んできました。

分野別活動のそれぞれについて、どのような目的のもとに取り組んでいるかを以下のとおりあらためて簡潔に表すことで、再度位置づけや意味合いを確認し、第10期運動方針として各分野別活動を推進します。

会社のことを知りたい
メンバーのことを知って
もらいたい

① 経営対策活動

やりがいと安心をもって
働きたい

② 労働福祉活動
③ 政策・政治活動

IMGUを
知ってもらいたい

④ 広報活動

あらゆるメンバーの
事情と想いをサポートしたい

⑤ ダイバーシティ推進
⑥ メンバー教育サポート

誇りと活気に満ちた
組織でありたい

⑦ 社会貢献活動
⑧ レクリエーション

メンバーの力になりたい

⑨ 役員人財育成

第10期分野別活動計画のポイント

① 経営対策活動	メンバーが知りたい会社の動きを確認するとともに、メンバーの声や想いを会社に伝える。 各支部の経営対策活動における悩みごとに対して、共に考え、解決する。
② 労働福祉活動	グループ全体に関わる制度や働き方について会社と協議する。 各支部労使通年協議の成案化にむけたアドバイスと、労使協議のフォローをおこなう。
③ 政策・政治活動	上部団体・UA ゼンセンの活動をつうじてメンバーの働く環境改善に取り組む。 メンバーにとって、政治がより身近に感じられるような活動をおこなう。
④ 広報活動	IMGUの活動を一人でも多くのメンバーに知ってもらう。 メンバーが知りたい情報を、わかりやすく、すぐに知れる仕組みをつくる。
⑤ ダイバーシティ推進	さまざまな事情を抱えるメンバー同士が「お互いさま」の気持ちでサポートし合える会社にする。
⑥ メンバー教育サポート	メンバーの人生を豊かにするための学びの機会を提供する。
⑦ 社会貢献活動	よりよい地域・社会実現のための一助となる活動をおこなうとともに、メンバーの社会貢献への意識を高めるための情報を発信する。
⑧ レクリエーション	職場における良質なコミュニケーションと一体感の醸成を目指した活動をおこなう。 各支部のレクリエーション活動のさらなる活性化をサポートする。
⑨ 役員人財育成	さまざまな活動を推進する組合役員の知識・スキル習得をサポートする。 IMGUを支える人財を、将来をみすえて育成する。

第9期(2021年度)活動報告

本部定期大会では、第9期(2021年10月~2022年9月)の活動の振り返りが報告されました。第9期に立てた活動計画と、取組の結果(できたこと・やりきれなかったこと)を振り返ります。

第9期における外部環境とグループ動向

新型コロナウイルスの社会影響

- 感染拡大による、企業の経済活動や個人の消費活動の制限
- 最近では感染者数が増加傾向にありつつも行動制限をおこなわない、社会経済活動の正常化の動き

グループ業績

- 2022年3月期決算については、各社働き方の見直し、業務の内製化などの経費コントロール推進による、営業利益ベースで3期ぶりの黒字転換へ
- 3ヵ年計画の「再生フェーズ」から「展開フェーズ」へむけ、営業利益2019年度水準までの回復と、2024年度統合後最高益(350億)を目指す

事業会社の動き

- 2021年10月松山三越百貨店とテナントショップのハイブリッド店舗としてリニューアルオープン
- 2022年4月三越徳島店(高松三越)、三越豊田店(名古屋三越)オープン
- 2022年6月三越利府店(仙台三越)オープン
- 2022年6月エムアイフードスタイル子会社化

第9期運動方針の考え方

新型コロナウイルスの影響により私たちの価値観や取り巻く環境が大きく変化している中、様々な制約がある中でも、「労働組合の活動」「私たちの働き方」に関して改めて問い直し、メンバー全員で前進していく意思のもと3つの考え方を掲げました。

ALL
メンバー

各々の立場・役割で全員が
参加スタンスは、
みんなで前向きに楽しく！

- メンバーとの直接対話の継続・強化。執行部の発信に対してコンスタントに意見集約ができる体制づくり

支部労使協議
の充実

労働条件のあるべき姿を
策定・実現に向けて
主体的に取り組む！

- 組織のカルチャーの変革、各支部のあるべき姿を基にした支部最適主体的労使協議へ
- 本部サポート体制強化。各支部執行部の「あるべき姿を描く力・問題解決する力」の向上

発信力を
高める

普段身近な兼任役員の影響力は大。
兼任も専従も
同じレベルであるべき姿を語る！

- 身近にいる兼任役員があるべき姿を語り、ステップ感を持った組合員一人ひとりが主体的に考えられる体制づくり

第9期活動全体の振り返り

- 第9期の1年間、新型コロナウイルスの感染状況をはじめとした社会状況は目まぐるしく変わり、期初に想定していた特にリアルでの活動の制限を余儀なくされた時期もありましたが、そのなかでもこれまでの経験を活かし、さまざまな活動を推進することができました。
- なかでも、支部統括担当を設けたことにより、定期的なミーティング実施による課題の共有化など、本支部間の連携をこれまで以上に強化することや、本部と各支部兼任執行委員とのディスカッションをおこなうことで、支部の労使協議や現場活動の活性化にもつながり、第10期活動へのさらなる発展も見込めます。
- また、HPの改修をはじめ、公式マスコットキャラクター・イングちゃんの活躍により、広報活動としての発信力強化に比べ、兼任役員によるメンバー接点をより充実させることにも各支部が取り組むことで、より発信力を高めることにもつながりました。
- メンバーや兼任役員も含めたALLメンバーによる主体的な活動への参画を目指した第9期、その浸透度は着実に深まったものと捉えています。



できたこと



やりきれなかったこと

 ①
 労働福祉活動
 ※重点政策

- 賞与交渉フローの見直しに伴い、年間交渉から半期交渉とし、業績結果を踏まえた賞与要求
- また、社員ステージBのコース設定の再整理、60歳以降のストック有休制度のグループ指針の策定
- 新たな短時間勤務制度、カムバック再雇用制度の導入、制服の更衣時間及び移動時間の労働時間化に向けた発信

- グループガイドラインに基づく制度導入に向けた各支部へのサポート体制
- 働き方の選択肢の拡大に向けた短時間正社員制度の要検討

 ②
 経営対策活動
 ※重点政策

- HDS経営懇話会について、チェック機能の強化。事前(議題・質問設定)および事後(各支部経営対策との連携)の充実、パイプ機能強化
- 支部経営懇話会の充実にむけた勉強会の開催、各社の方針・財務状況の理解浸透などのため、「中計・財務確認合宿」を支部単位での実施



- HDS経営懇話会の内容の各支部執行部へのグループ全体の情報共有。各支部の議論深耕の必要性
- 現場活動と連動した各支部職場懇話会の実施について、メンバーの改善実感につながりつつ、現実的な開催単位や開催頻度など継続可能な取り組みの必要性

 ③
 現場活動
 ※重点政策

- 兼任執行委員によるVOICE運営や、評議員・職場委員との連携など、各支部の現場活動を前進
- 各支部兼任執行委員と本部とのディスカッション実施



各支部執行委員との
意見交換
(名古屋三越支部)

- 本部の関与・サポートの強化。具体的には、役員それぞれの役割をあらためて周知し、現場活動において何をすべきかを再度認識させることや、各支部の動画配信(月イチ動画)の効果的な活用について、本部方針が示せなかった

 ④
 広報活動

- 新HPリリース、LINE機能拡充、Twitter投稿の仕組みづくり、デジタルサイネージ新規設置などのインフラ整備
- 情報発信の充実化。IMGUのプレゼンス向上として、HP発信内容の拡充、LINE発信内容の改善、広報キャンペーン施策などの新たな取り組み



新HP-イングちゃんステッカー-LINEスタンプ

- HP閲覧数やLINE友達数のさらなる向上、支部が広報ツールを活用し発信力をさらに高める取り組み推進
- 特に支部広報活動サポートは、広報活動実態のヒアリングにとどまった

⑤ ダイバーシティ 推進

- 育児サポート百科は男性目線の内容を充実させ発刊した。介護の基礎情報の動画を更新・発信
- 介護相談会を年2回開催と相談内容からメンバーの課題の傾向把握
- 介護や疾病の相談シートを作成役員勉強会で活用方法の各支部共有。育児VOICEの各支部サポート
- 定期的な勉強会(発達障害など)の実施



- ダイバーシティ推進の考え方や行動基準は策定に着手したものの、発信には至らなかった
- 各種情報ツールの周知の実施は10期へ持ち越し
- 育児・介護・疾病などの“相談窓口となる各支部役員”むけの勉強会の取り組みは、継続的な機会提供や進化
- 育児介護以外の新たな分野に関する調査研究の内容を今後の取り組みに反映する方法の具体化

⑥ 社会貢献活動

- 社会福祉・資源環境保護・アフターコロナを切り口に、支援団体の選定と取り組みの検討
- 2021年秋「オンラインマラソン大会」
- 2022年春「今後の東北支援を考えるツアー」の実施を通じ、次期東北支援活動プランの策定への活用
- 愛の募金活動は、キャッシュレス募金を選択肢に含め、募金結果はコロナ前の水準まで回復



- 本部支援団体と連携した具体的な活動は第10期から実施予定
- SDGsを切り口とした活動のメンバー向け発信
- 愛の募金のキャッシュレス募金の定着
- 多くのメンバーに参加してもらうための情報発信のあり方や、一度参加したメンバーとの関係性の構築などを強化していく必要性

⑦ 教育サポート 活動

- 組合活動全体のバランスやあり方をふまえ、新たなユニオンプランの体系を策定
- 各年齢対象のライフプランセミナー実施
- 30歳教育を三越伊勢丹支部先行実施
- 人生を豊かにするための教育プログラムとしてマナーリテラシー向上講座とデジタルコミュニケーション講座を作成・発信
- 自己啓発支援制度のメール申請フローの構築



ライフプランセミナー

- フレッシュプランのさらなるカリキュラムの深化。
- キャリアライフ・シニアライフプランセミナーのマナープランに対するニーズが多様化対応
- フェロー社員など誰でも参加できるセミナーの検討
- 「SDGs」企画は策定にとどまり、発信にはいたらず
- 全般的には企画・発信したメニューの魅力や重要性をメンバーに伝え、参加してもらうための取り組みの不足

⑧ 政策・政治 活動

- 「かわいたかのり」議員の支援活動をつうじ政治活動の必要性を一定程度の浸透
- 政治に関するトピックスを取りあげた勉強会を本部機関会議内で実施し、専従役員を中心に政治リテラシーの向上に寄与



かわいたかのり議員(右)と田村まみ議員(左)

- 労働組合が政治活動に取り組む必要性について、組合役員のみならず、メンバーに対する教宣活動まではいたらず
- 身近な政治の話題に対して、より関心をもってもらえるよう働きかけることまで着手できなかった

⑨ 組織政策・ 人財育成

- 新規専従者を対象のビギナー教育を研修動画として整理
- 各支部書記長を対象としたアドバンス教育の、内容の充実
- 専従2年目以降を対象に、ミドル教育を新設



アドバンス教育

- 各支部の人財育成へのサポートについては、事例共有にとどまり、具体的なサポートの検討には至らなかった
- 支部二役を対象としたアドバンス教育の外部受講の新規受講者の伸び悩み

第9期活動表彰



受賞支部
代表の皆さん

定期本部大会では、第9期運動方針の考え方・重点政策を踏まえ積極的に活動へ取り組み、組織・役員・メンバーに好影響を与える等、組合活動に著しい貢献のあった者および団体に対して、組合規約に基づき「活動表彰」を行いました。

今回表彰された3支部の活動から、一部の取り組みをご紹介します。



三越伊勢丹支部 新宿分会 〈兼任執行委員11名〉

活動ポイント

現場活動強化において、新宿店で働く従業員のコミュニケーション活性化へ「ナナメンター活動」等を推進した取り組み

- 「ナナメンター活動」は、上司部下の関係ではなく、利害関係のない「斜め上の先輩」が、業務内外問わず多方面でサポート・支援をする制度です。これにより、社内での安心できる居場所を作り出すお手伝いをします。
- 従業員からも一定の評価を得られ、「不安が解消し、頑張ろうと思えた」、「話を聞いてくれる場所を知り、安心できた」等のお声をいただきました。
- また、執行委員一人ひとりがナナメンターを行えるように、レベルの標準化を目指すための必要な知識取得や傾聴方法など講師をお招きし、教育を受講する機会を作りました。



ナナメンター執行委員、ポスター

北海道統括支部 札幌丸井三越支部 〈兼任執行委員10名〉

活動ポイント

経営対策活動と現場活動を繋げ、企業戦略浸透や現場課題を伝える「社長インタビュー」の取り組み



社長インタビュー動画、HP

- 従業員が感じる「現状(今)」と会社の「将来像(未来)」を繋ぐ場を目指し、従業員が日頃抱える、不安や疑問、意見を集め、執行部が代表をして社長にインタビューを行い、動画を撮影、会社・組合から月1回定期配信する取り組み。
- 企業戦略浸透を図ることや現場課題を伝え、従業員が前向きに働くためのきっかけづくり、経営参画意識を高める取り組みとなりました。会社と連携を図り進め、視聴数の増加やメンバーのリアクション、さらなる意見集約に繋がっています。
- また、執行委員が現場課題に向き合うことや、会社の取り組みをわかりやすく伝えるためには、どうすれば良いか主体的に考えるなど積極的な活動に繋がりました。

新潟三越伊勢丹支部 〈兼任執行委員8名〉

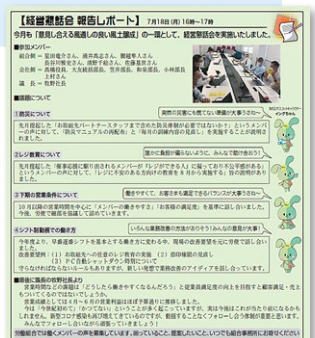
活動ポイント

「経営懇話会」を課題解決の起点とし、労使一体で業務改善、メンバーの働きやすさの向上に繋がった取り組み

- これまでは、専従役員と会社役員による双方の活動報告が主だった「経営懇話会」を活性化すべく、支部執行委員が積極参加し、経営懇話会のスタイルを「組合提言の課題を議論する」形式に発展した取り組み。
- 執行部で毎月事前にミーティングを実施し、議題をゼロから設定。執行部全員出席で経営チームとの対話を毎月実施。支部広報誌を通じて、議論の経過や結果を従業員へ周知しました。
- 最適な営業条件や働き方、安全管理(防災マニュアル策定)、従業員意識調査を踏まえ働き方の改善など、様々な現場課題を労使で議論し、解決に繋がりました。



経営懇話会、議論経過共有の広報誌



議案に寄せられた質問・意見

質問



運動方針について

静岡伊勢丹支部 副執行委員長 鈴木 恵

第10期では支部統括による各支部サポート体制の強化とあり非常に心強いと思っている。今後、各支部で厳しい労使協議が想定される中で、具体的にどのようなサポートをしていくのか教えていただきたい。



政策政治活動について

仙台三越支部 副執行委員長 真山 諒

組織内議員の支援として、今後の政治活動に継続性を持って取り組んでいく為には、公民権行使の周知をはじめとして、メンバーに意識付けが必要だと考える。第10期の取り組みで、今後メンバーに政治への興味関心を持ち、どのように主体的に取り組んでいけるようにしていくか教えてほしい。



人材育成について

広島三越支部 書記長 府川 正樹

第10期で取り組む「VOICEサイクル」では、兼任役員との関わり方と、「聞く力・話す力」のレベルアップが非常に重要になってくると考えている。本部運動方針の中で、本部主催教育への支部執行員の任意の参加に触れているが、兼任役員の人材育成について本部の方向性を教えてほしい。

意見



VOICEサイクルについて

関連グループ支部Ⅱ 書記長 柘植 千奈津

VOICEサイクルのイメージはわかりやすくシンプルで良いと思う。サイクルの「伝える」と「知らせる」の間に、労使で伝えたメンバーの意見を基に、会社側の中で起きる変化も含まれると思うが、イメージしづらいと感じる。「伝える」と「知らせる」の間にある変化についても図の中に入れてもいいのではないかと。



広報活動について

岩田屋三越支部 書記次長 松山 尚平

メンバーとの直接対話の場が少なくなり、組合からの情報発信の仕方も変化があった。例えばメール発信の組合情報は、業務のものと比較して閲覧の優先順位が低くなる傾向がある。第10期は本部から支部へのサポート掲げているが、どのように行うのか、また方向性があれば教えてほしい。



HDS 経営懇話会について

新潟三越伊勢丹支部 書記次長 小島 健太郎

本部とHDSで実施している経営懇話会について、各支部の組合役員だけでも共有してほしい。

退任者紹介

第9期をもって
石崎 謙さん(監査委員)、
藤岡 徹さん(監査委員)の
2名が監査委員を退任しました。

長きにわたり組合活動にご尽力いただき
ありがとうございました。



監査委員
北海道統括支部
石崎 謙さん



監査委員
広島三越支部
藤岡 徹さん

第10期 定期本部大会 本部執行委員長挨拶



菊池 史和
本部執行委員長

本日は、3年ぶりにリアルのみでの定期大会の開催となりましたが、全国から多くの代議員の皆さまにご参集頂きました。分科会や先ほどの審議等、熱心にご議論頂きましてありがとうございます。

また、大会の企画と運営にあたってくれた本部書記局の皆さん、お忙しい中ご出席頂いた来賓の皆さまには感謝申し上げます。そして、第9期をもって退任された本部役員、支部役員、全ての組合役員の皆さんのおかげで第9期を終えることができました。心より御礼申し上げたいと思います。

大会の閉会にあたり、新執行部を代表して、3点ほどコメントさせていただきます。

一つ目は、今期の運動方針の重要取組み事項である「VOICEサイクル」についてです。

経営活動は従来にないほどのスピードで進められており、各職場での課題も画一的ではなくなってきています。これまでのように通年協議や経営との議論だけでは各職場の課題解決に繋がらないことが多く増えており、職場課題改善の活動自体を大幅に見直していく必要があります。その為、執行部以外にも多くの組合役員や職場委員、そして組合員の皆さんにもこれらの職場課題改善に参画を頂かないと、本当の意味での改善に繋がりません。したがって、色々な職場でVOICEサイクルを実行していこう、ということが今期の活動の考え方です。こうして多くの職場で改善活動に取組みつつ、経営との議論に繋げることで、コーポレートガバナンスとしての機能を発揮し、企業の変革のサポートを行っていききたいと思います。

二つ目は、労使関係についてです。

VOICEサイクルを実行する際、会社との連携は必要不可欠となりますが、これは経営や人事だけということではなく、各職場での長にあたる方と組合役員との関係構築や連携が非常に重要となります。企業にとって重要な局面を迎えている中、労使で連携して課題改善に取り組むことが戦略推進の観点からも非常に重要であると考えます。その為には、各職場労使でのコミュニケーションに加えて、支部から会社への働きかけ、もっと言えば本部から経営への働きかけなど、様々な場面での労使コミュニケーションを図っていく必要があります。VOICEサイクルの実行の為に、こうした労使コミュニケーションについても、本支部連携して取り組んでいきたいと思っています。

三つ目は、基本理念についてです。

こうした変革期にある中、労働福祉政策における中期ビジョン策定や、経営対策活動における構造改革への対応、そして組合活動のあり方の見直し等、難易度の高い取組みをこれから進めていくこととなります。その時に、我々が何のために各種活動に臨むのか、ということを都度確認しながら進めていく必要があります。その際には、私たちの活動の目的である「私たちの幸せを創造し続けること」に立ち返りながら、取り組んでいきたいと思っています。短期的な視点に陥ることなく、常に中期的・長期的な視点で「私たちの幸せ」を思い描きながら活動していきましょう。是非、各支部内でもこの基本理念を改めて共有する機会を作って欲しいと思います。

今期から、活動期間が2年間となりますが、今後の企業の成長発展においても非常に重要な2年間となると思います。本部と支部とでこれまで以上に連携を深めて、全員参画でこの局面を乗り越えていきたいと思っています。2年間、よろしくをお願いします。本日はありがとうございました。



支部役員

三越伊勢丹 支部



北海道統括 支部



札幌丸井三越 支部



仙台三越 支部



本部執行委員
支部執行委員長
石井 高広



支部副執行委員長
真山 諒



支部書記長
工藤 翼



支部書記次長
若山 ひかる



支部執行委員
大又 大輔



支部執行委員
白鳥 里奈



支部執行委員
鈴木 実来



支部執行委員
鈴木 賢



支部執行委員
小林 誠

新潟 三越伊勢丹 支部



本部執行委員
支部執行委員長
星田 竜介



支部書記長
涌井 高志



支部書記次長
大野 夏希



支部書記次長
小島 健太郎



支部執行委員
和田 友紀子



支部執行委員
荻野 つかさ



支部執行委員
腰越 隼人



支部執行委員
佐藤 基世



支部執行委員
清野 千絵



支部執行委員
長谷川 雅史

静岡伊勢丹 支部



本部執行委員
支部執行委員長
大木 芸子



支部副執行委員長
鈴木 恵



支部書記長
森田 一満



支部書記次長
渡邊 泰清



支部執行委員
今村 紘樹



支部執行委員
櫻井 咲幸



支部執行委員
平岡 美和

名古屋三越 支部



本部書記次長
支部執行委員長
林 佳弘



支部副執行委員長
牛田 陽介



支部副執行委員長
松井 一兼



支部書記長
中住 萌里



支部書記次長
近藤 光貴



支部書記次長
近藤 一貴



支部執行委員
秋葉 みなみ



支部執行委員
小川 紗也加



支部執行委員
川村 直己



支部執行委員
竹市 すず



支部執行委員
山城 一真



支部執行委員
今井 麻莉



支部執行委員
加藤 未来



支部執行委員
高野 桃子



支部執行委員
二村 菜々

広島三越 支部



本部執行委員
支部執行委員長
沼 雄大



支部書記長
府川 正樹



支部書記次長
栗栖 史行



支部執行委員
栃木 圭一



支部執行委員
本家 幹大



支部執行委員
城 美穂子

高松三越 支部



本部執行委員
支部執行委員長
廣瀬 亜沙子



支部書記長
竹本 夏輝



支部書記次長
西村 祥太



支部書記次長
小笠原 朋希



支部執行委員
西尾 直祐



支部執行委員
山地 陽子



支部執行委員
東原 佳苗



支部執行委員
玉井 遼平

松山三越 支部



岩田屋三越 支部



エムアイ フーズスタイル 支部



エムアイカード 支部



三越伊勢丹 ビジネス・サポート 支部



三越伊勢丹
プロパティデザイン
支部



本部執行委員
支部執行委員長
田中 剛

支部書記長
池田 翔太郎

支部書記次長
鶴見 安訓

支部書記次長
布留川 諒

支部執行委員
中村 元

支部執行委員
下村 耀子

支部執行委員
鰐部 紗希

三越伊勢丹
システムソリューションズ
支部



本部執行委員
支部執行委員長
濱 周平

支部書記長
赤土 一行

支部執行委員
藤本 賢太

支部執行委員
前島 珠美

支部執行委員
志賀 章博

三越伊勢丹
ヒューマンソリューションズ
支部



本部執行委員
支部執行委員長
松坂 嘉昭

本部書記次長
支部副執行委員長
小山 満代

支部書記長
豊崎 翔太

支部執行委員
石田 亜美

支部執行委員
島田 さなえ

支部執行委員
和田 宗之

支部執行委員
菊池 純子

三越伊勢丹
ニコウトラベル
支部



本部執行委員
支部執行委員長
田中 剛

支部書記長
池田 翔太郎

支部執行委員
花本 彩

支部執行委員
谷脇 信子

支部執行委員
木島 将也

関連グループ
支部
I



本部執行委員
支部執行委員長
磯原 由紀夫

本部執行委員
支部書記長
五味淵 晴枝

関連グループ
支部
II



本部書記次長
支部執行委員長
山口 善崇

支部書記長
柘植 千奈津

監査委員



齋藤 暢秀
三越伊勢丹支部
第3MDグループ美術
営業部付(計画)

金 徳子
三越伊勢丹支部
(株)三越伊勢丹ヒュー
マンソリューションズ

大西 祐介
北海道統括支部
外商部営業第1部
営業2課

大原 邦則
名古屋三越支部
三越伊勢丹外商統括部
個人外商グループ
三越日本橋外商部
第三担当(大阪サロン)

坂本 恭子
エムアイカード支部
保険営業部
保険営業推進担当

倉田 美由紀
エムアイフドスタイル支部
商品統括本部
商品戦略室
商品開発担当

植村 政弘
三越伊勢丹
ビジネス・サポート支部
センター業務部 第二
業務担当 用度業務

上部団体派遣



上田 智亮
UNI日本加盟組織
連絡協議会
事務局次長

小菅 元生
日本労働組合総連合会
総合政策推進局
労働法制局 局長

高木 美沙
在タイ日本国大使館
二等書記官

吉村 祥吾
外務省研修

スタッフ・事務所紹介

岩田屋三越



〒 810-0021
 福岡県福岡市中央区今泉 1-6-1
 岩田屋三越今泉ビル 1F
 TEL 外線 092-712-6870
 内線 815-3197
 FAX 外線 092-721-6060
 内線 815-3199
 ●共済会受付時間
 不定休 10:00～16:00

左から、松尾志保(書記スタッフ)、松浦薫(書記スタッフ)、太田みゆき(書記長)、本田英治(執行委員長)
 ▶今泉ビル1階にあります!館内に入って真っすぐ進み、エレベーターホールを通り過ぎてすぐ左手にあります。
 電子レンジもありますので、お昼休憩などお気軽にお立ち寄りください。

広島三越



〒 730-8545
 広島県広島市中区胡町 5-1
 広島三越 8F
 TEL 外線 082-242-3259
 内線 834-541
 FAX 外線 082-243-6966
 ●共済会受付時間
 月、火、木、金
 10:30～15:30

左から、沼雄大(執行委員長)、滝下まい子(書記スタッフ)、府川正樹(書記長)
 ▶広島三越館内の従業員エレベーターで8階へ、エレベーターを降りて左へ直進、突き当たりが事務所です。
 グループのなかで一番狭い事務所かと思いますが、居心地の良さも一番だと思います。お気軽にお立ち
 寄りください。

松山三越



〒 790-8532
 愛媛県松山市一番町 3-1-1
 松山三越 B2F
 TEL 外線 089-934-8876
 内線 841-2555
 FAX 外線 089-945-4922
 ●共済会受付時間
 不定休 10:00～17:00

左から、小原健(執行委員長)、松江直哉(書記長)、佐々木まどか(書記スタッフ)
 ▶松山三越の従業員通口から入って従業員エレベーターに乗り地下2階へ。社員食堂入って左手に事
 務所があります。気軽に立ち寄りお話ししていきましょう!!

名古屋三越(栄)



〒 460-8669
 愛知県名古屋市中区栄 3-5-1
 名古屋三越栄店 6F
 TEL 外線 052-252-1661
 内線 820-1661
 FAX 外線 052-252-1660
 内線 820-1660
 ●共済会受付時間
 不定休 10:00～17:00

左から、小柳朋子(書記スタッフ)、林佳弘(執行委員長)、中住萌里(書記長)、近藤光貴(書記次長)
 ▶栄店6階の休憩所のすぐ横にあります!お気軽にお立ち寄りください。星ヶ丘店8階従業員食堂横の事務所は不
 定期で開室しています。

高松三越



左から、竹本夏輝(書記長)、朝倉枝真(書記スタッフ)、廣瀬亜
 沙子(執行委員長)

▶アネックスビル4階のエレベーターを降りてすぐに事務所があります!
 「組合員の皆さんが気軽に立ち寄り、リラックスできる事務所」を目指
 しています。いつでも気軽に立ち寄ってくださいお待ちしております。

〒 760-8639 香川県高松市内町 7-1 高松三越アネックス 4F
 TEL 外線 087-825-0848 内線 840-2083
 FAX 外線 087-821-1405
 ●共済会受付時間 不定休 10:00～17:00

静岡伊勢丹



左から、見崎真実(書記スタッフ)、鈴木恵(副執行委員長)、
 大木芸子(執行委員長)

▶本館3階から連絡通路で別館へ、突き当たり左手にある階段で2
 階へ降りたら事務所があります。事務所では会議ができるようになり
 ました!メンバーの皆さんは新聞を読んだり、共済会の電子申請も
 出来ますので是非お気軽にお越し下さい!

〒 420-0031 静岡県静岡市葵区呉服町 1-7 静岡伊勢丹別館 2F
 TEL 外線 054-252-9825 内線 811-2660
 FAX 外線 054-252-9826
 ●共済会受付時間 不定休 10:00～18:30

名古屋三越(星ヶ丘)

〒 464-8661
 愛知県名古屋市中区星ヶ丘 14-14
 名古屋三越星ヶ丘店 8F
 TEL 外線 052-783-3369
 内線 823-3369
 FAX 外線 052-783-3368

※常駐していません



新潟三越伊勢丹(新潟伊勢丹)



左から、丸山由紀子(書記スタッフ)、星田竜介(執行委員長)、浦井高志(書記長)

▶新潟伊勢丹7階社員食堂に入って左奥になります。事務所前には新聞、事務所内には雑誌やフリースペースもあります。いつでもお気軽にお立ち寄りください。

〒950-8589 新潟県新潟市中央区八千代1-6-1 新潟伊勢丹7F
TEL 外線025-243-7566 内線807-2251
FAX 外線025-243-7585 内線807-2282
●共済会受付時間 月、火、水、金、土 10:00～17:45

札幌丸井三越(札幌丸井今井)

〒060-0061
北海道札幌市中央区南一条西2丁目
丸井今井札幌本店西館2F
TEL 外線011-205-2525
内線817-22525
FAX 外線011-205-2524
内線817-22524
●共済会受付時間
月～日10:00～19:00



左から、木村正男(書記長)、小山薫(書記スタッフ)、藤巻由美子(書記スタッフ)、吉田貴彦(副執行委員長)

▶丸井今井一条館2階から西館2階にわたると、すぐ右手に事務所があります。新聞等も読める休憩スペースもありますので、いつでも気軽に立ち寄りください!

札幌丸井三越(札幌三越)

〒060-8666
北海道札幌市中央区南一条西3-8
札幌三越内一銀ビル5F
TEL 外線011-222-8536
内線817-33800
FAX 外線011-251-0538
●共済会受付時間
月・水・金 11:00～17:00

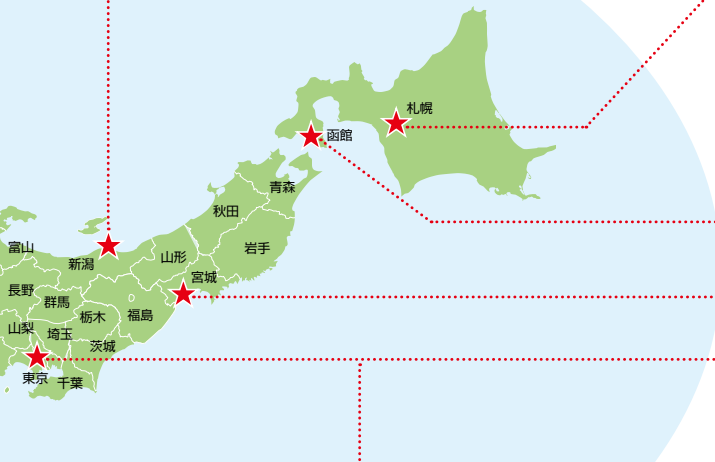
函館丸井今井



〒040-8701
北海道函館市本町32-15
丸井今井函館店2F
TEL 外線0138-32-1033
内線892-1033
FAX 外線0138-52-5808
●共済会受付時間
月～日 10:00～18:30

左から、下川原みゆき(書記スタッフ)、玉谷謙一郎(執行委員長)

▶丸井今井函館店2階の従業員用エレベータを降りて、左手に進むと事務所があります。普段は下川原さんとインクちゃんが二人でお待ちしております。



三越伊勢丹新宿本部(労働組合)



上段左から(書記スタッフ)国米和美・鳥越照子・内山敦子・梁宮美恵・原忍・立川悠
下段左から(書記スタッフ)白根芳恵・塩田朝子/大橋健二

▶新宿三丁目駅から徒歩5分。靖国通り(新宿区役所前)交差点または、(新宿五丁目)交差点より徒歩3分のところにある「H&Iビル1F」に組合本部新宿事務所(共済会含む)があります。各種申請・ご相談などお気軽にお立ち寄り下さい!



〒160-0022 東京都新宿区新宿5-17-18 H&Iビル1F
TEL 外線03-5273-5165 内線801-23-911
FAX 外線03-5273-5177
●組合受付時間 月～土 10:00～18:00

三越伊勢丹新宿本部(共済会)



上段左から(共済会スタッフ)大本幸恵・青木正子・飯倉理恵
下段左から大池美子(共済会スタッフ)・木暮洋司(共済会事務局次長)・堀之内和文(共済会事務局長)・(共済会スタッフ)斉藤千絵・佐藤亮子/清水伸子

▶三越伊勢丹グループ共済会(本部)は、「H&Iビル1F」労働組合本部事務所の隣に併設されています。

共済会の各種制度内容やお申し込みに関するお問い合わせは、共済会本部およびご所属の支部へご連絡ください。お待ちしております!



〒160-0022 東京都新宿区新宿5-17-18 H&Iビル1F
TEL 外線03-5273-5139 内線801-23-914
FAX 外線03-5291-7395 内線801-23-919
●共済会受付時間 月～土 10:00～18:00

仙台三越



左から、石井高広(執行委員長)、栗野由美子(書記スタッフ)、真山諒(副執行委員長)

▶定禅寺通り館6階からエルパークへの出口を出て、左手側に組合事務所があります(営業運営事務所となり)。人事制度や働く環境の他、自己啓発や共済会の手続きなど、なんでも相談に来てください。

〒980-8543 宮城県仙台市青葉区一番町4-8-15
仙台三越定禅寺通り館6F
TEL 外線022-261-3185 内線875-2673
FAX 外線022-224-2489
●共済会受付時間 10:00～15:30

銀座三越

〒104-0061
東京都中央区銀座4-8-12
コチワビル6F
※常駐していません

日本橋三越

〒103-8001
東京都中央区日本橋室町1-2-4 三越SDビル7F
TEL 内線882-6638
FAX 内線882-6647
※常駐していません

組合ホームページリニューアル!

2022年
7月13日
より



まずは一緒に見てみよう!
組合ホームページへようこそ🐰

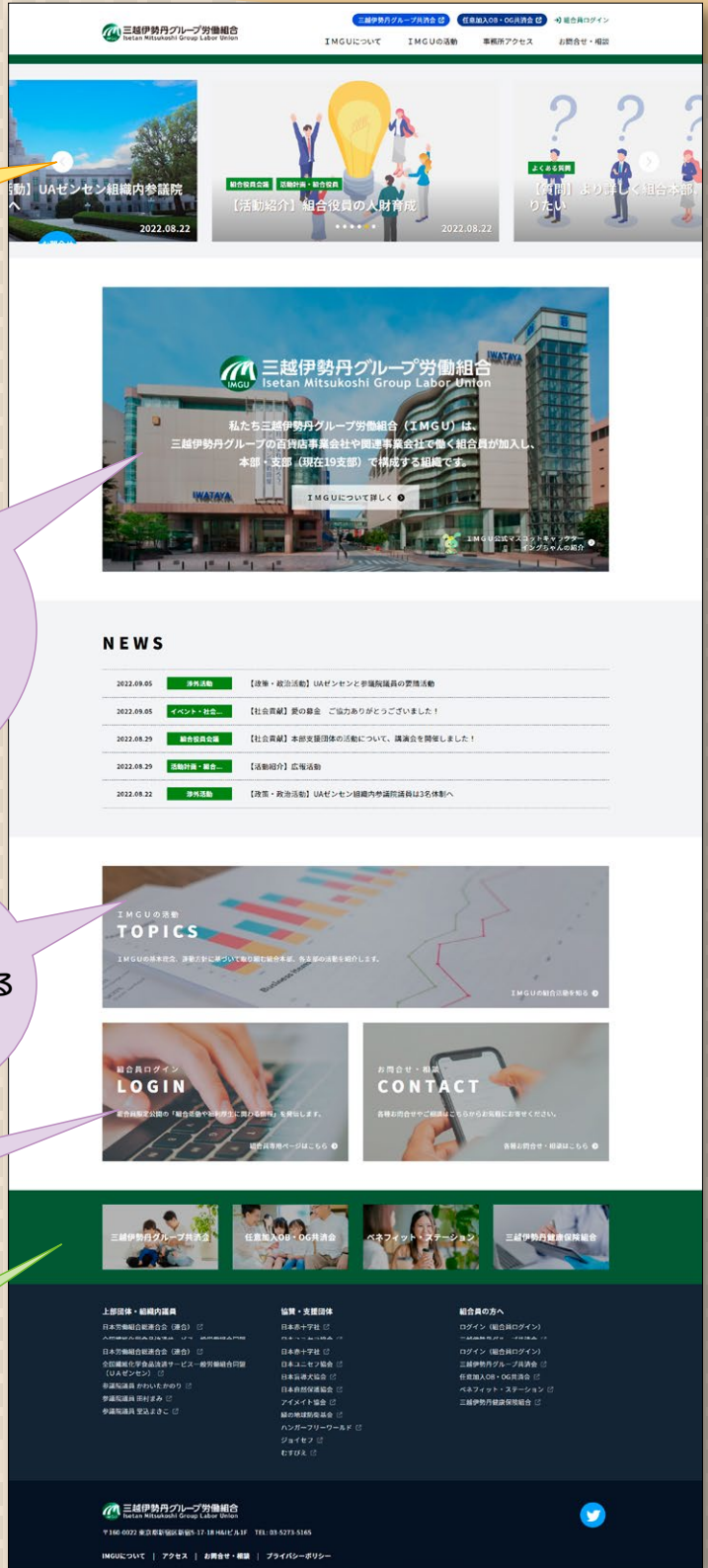
[ログイン] 前 TOP画面



今注目の情報は?

支部・本部の
新着記事など
注目の情報を見にいきやすい!

画像からすばやく記事が
閲覧できるうさよ🐰



IMGU公式
マスコットキャラクター
イングちゃんの
紹介ページも♡



「IMGUについて」では、
基本理念や
組織・運営体制など
紹介ページが
あるうさよ🐰

TOPICSでは
活動報告が閲覧できる
うさよ〜🐰

ログインなしでも
お問合せや相談ができる
窓口も完備うさよ🐰

分かり易い
大きな入口で
簡単ログイン!

共済会・ペネフィットステーション、
健康保険組合へのリンクも
バッチリうさよ🐰

更に見やすく使いやすい
HPを目指したうさよ♪



ログイン方法は?

組合員ページのログイン方法が分かりやすい!
ID: 企業コード(2桁)+社員コード(8桁)
PW: 生年月日(西暦)





申請・サポート、
お問合せ・相談なども
ここからすばやく確認できる
うさ🐰

キーワード入力で検索も簡単うさ🐰

所属企業・支部の情報は？

ログイン後は
自動的に所属企業・支部のTOPページが
閲覧できる！

迷わずにご自身に関わる記事が見れるうさ🐰

10種類の活動報告の中から
知りたい情報を
ピックアップできるうさ🐰

ライブラリーでは、
労働協約や議案書、広報誌などが
保管されている！

支部TOP画面を下に進むと、
組合本部の情報、ライブラリーが
掲載されているうさよ🐰

組合LINEや
イングちゃんTwitterも
配信中♡

お友だち登録して
見に来て
ほしいうさ🐰



HP“QRコード”MAP を作成しました!

「組合ってどのような活動をしているの?」「組合広報ってどこにあるの?」「自己啓発の申請用紙を探したいんだけど…フォーマットが見つからない」…などのメンバーの声にお応えし、三越伊勢丹グループ労働組合のHP各記事へダイレクトにアクセスできるHP“QRコード”MAPを作成しました。



HPを中心に様々な情報発信を行っていますので、ぜひご活用ください!!

たくさん情報発信があるうさね!

三越伊勢丹グループ労働組合 ホームページ



〈ログインID〉
社員コード10桁
〔企業コード(2桁)
+
社員コード(8桁)〕
〈パスワード〉
生年月日(8桁)

リンク付QRコードから
各項目をダイレクトで
閲覧できます。

本部・支部共通のページ

育児・介護・疾病

『育児・介護・疾病サポート百科』と『仕事と両立に向けた説明動画』が見られます。



自己啓発

IMGU自己啓発支援制度の申請が、メールでの申請も可能になりました。



お問合せ・相談

フォームに沿って、お問合せや相談をお気軽にご連絡ください。



労働組合本部のページ 各支部毎に活動報告やライブラリーページがあります!

活動報告

活動計画・役員体制

労働組合の活動や役員体制などを紹介しています。



よくある質問

労働組合に寄せられるよくある質問にお答えしています。



ライブラリー (資料・動画)

広報誌や議案書、動画による情報発信など過去のデータを保管しています。

本部広報誌・動画

本部広報誌やデジタルサイネージ動画はコチラ



定期本部大会議案書

定期本部大会の議案書はコチラ



IMGUのお仕事紹介動画

労働組合の専従者のお仕事紹介はコチラ



LIFEプラン動画

LIFEプランとは「生きがい」、「心身の健康」、「良好な人間関係」と言った、組合員のみなさんの生活を豊かにして、人生の質を上げていくことをテーマにした情報発信です。

LIFEプラン①



LIFEプラン②

